
第34回オーバーナイトハイク 留意事項について

オーバーナイトハイクおさらい

■目的■

約30kmという距離を歩くことを通じて、目標に向かって歩み、それをやり遂げる達成感など、様々な思いを感じながら、子供たちの健やかな成長の一助とする

■昨年度は・・・■

開催可否判断16時時点では天候への懸念もなく、決行の判断をしたが、**急激に天候が悪化し、20時時点で、雷雨及び電車運休も発生し、その後の天候の回復も見込まれなかったため、可否基準に基づき中止判断を行った。**

申込者**636人**（うち 3年生221名）が涙をのんだ。

昨年度のまとめ

1. 想定していた判断基準に基づき適切な中止判断ができた。
⇒中止時の連絡体制等 想定が十分でなかった。
2. 相談員全体でカバーすることで、学区上限を超える申込者を参加させてあげられた。
⇒ただ、全体的には5年連続申込者が減少。
3. 色々な魅力アップの企画を実施した。（完歩パン、俳句）
⇒子ども達の感想がわからなかった。
4. 42枚ではあるが回収したアンケートの中に、
昨年の中止に対する残念な想いが詰まっていた。
⇒特に3年生の中学最後の夏の思い出の期待に応えなかった。
5. ONHに対する学校の協力体制の差が大きくなってきた。
⇒ONHのあり方や働き方改革等 社会の変化を意識する
必要があるのでは、

【19期の足跡を残し、来期につなげる】



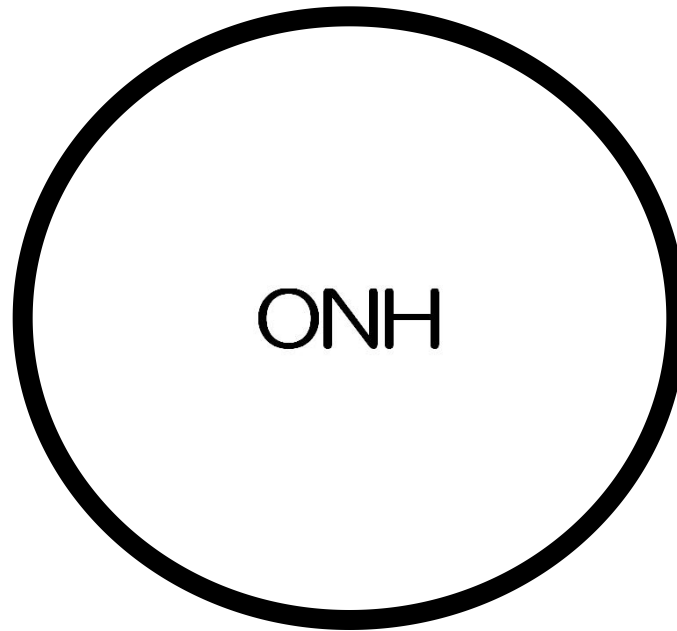
今年のスローガンとテーマ(イメージ)



ONH
(基本)

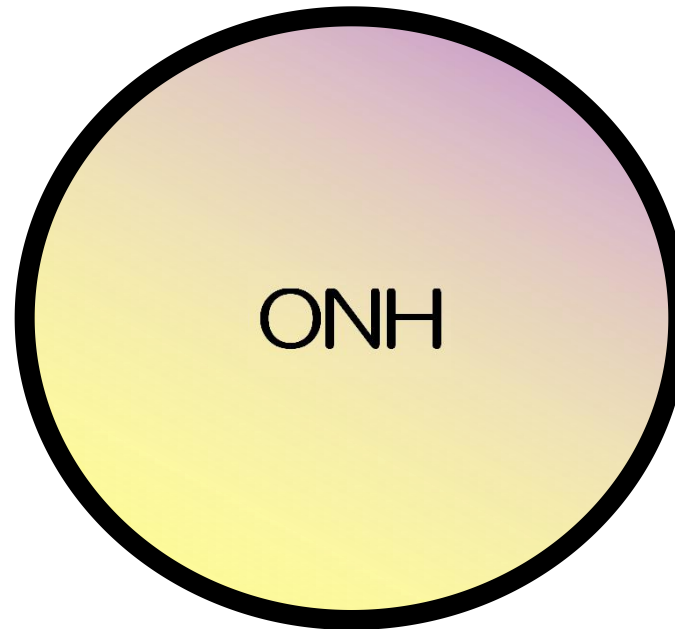
今年のスローガンとテーマ(イメージ)

A. 更なるリスクの低減
くどんな状況下においても
参加者（子供大人）の安全を確保した上で、>



今年のスローガンとテーマ(イメージ)

A. 更なるリスクの低減
くどんな状況下においても
参加者（子供大人）の安全を確保した上で、>

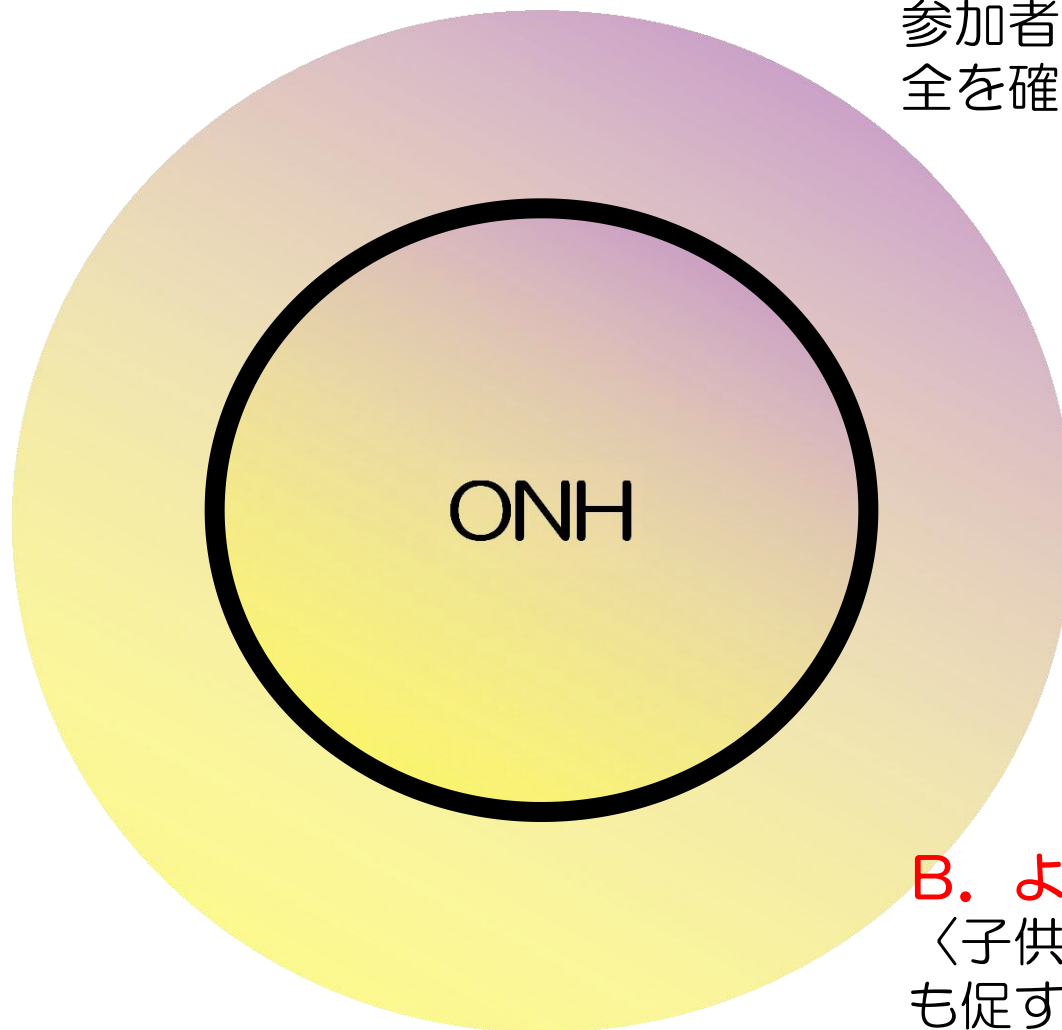


B. より魅力的に
く子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、>

今年のスローガンとテーマ(イメージ)

C. 多くの人が主体的
に参画する

A. 更なるリスクの低減
〈どんな状況下においても
参加者（子供大人）の安全
を確保した上で、〉

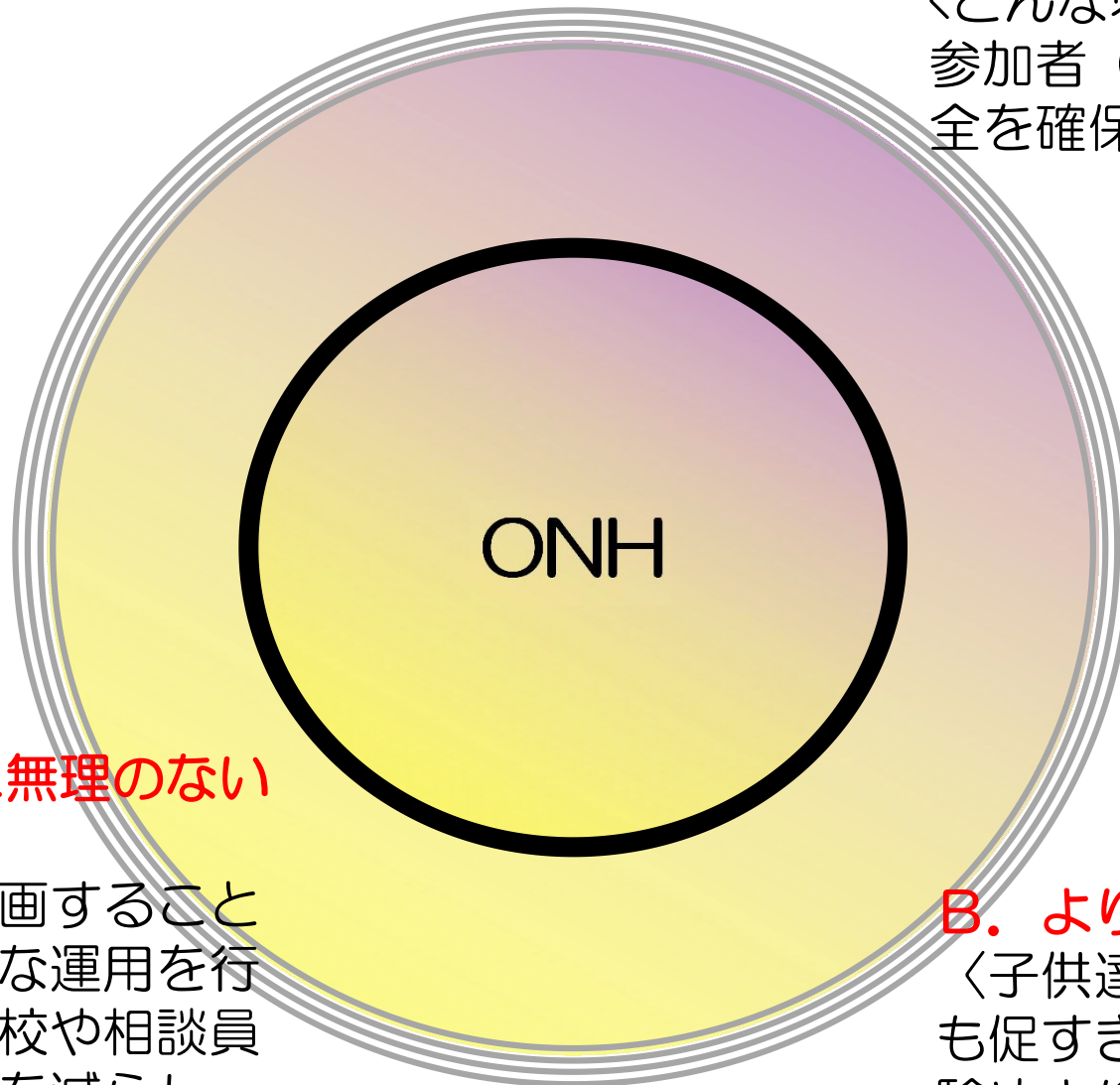


B. より魅力的に
〈子供達の成長を少しでも
促すきっかけとなる体
験やより印象に残る企画
を行い、〉

今年のスローガンとテーマ(イメージ)

C. 多くの人が主体的
に参画する

A. 更なるリスクの低減
〈どんな状況下においても
参加者（子供大人）の安全
を確保した上で、〉



D. 次世代に無理のない
ONHを

〈効率良く計画すること
で、より安全な運用を行
うと共に、学校や相談員
の準備の負担を減らし
次世代に繋げていく〉

B. より魅力的に
〈子供達の成長を少しで
も促すきっかけとなる体
験やより印象に残る企画
を行い、〉

基本的な話

役割体制

本部（救護場所）

：歩行のペース調整・救護受付

休憩所 1－1

：柏駅（スタート受付） 、市立柏高（休憩所 2）

休憩所 1－2

：市立柏高（休憩所 2） 、市立柏中（ゴール）

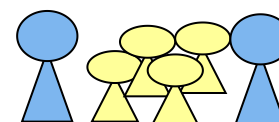
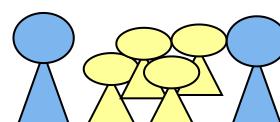
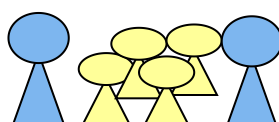
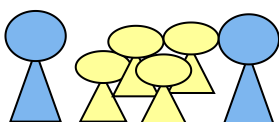
休憩所 2

：富勢東小（休憩所 1） 、十余二小（休憩所 3）

Aグループ（200名程度）

同行

：生徒と一緒に歩き、体調確認・ペース維持



バイク

：誘導・安全確保

救護

：体調不良者を本部まで搬送

Bグループ

Cグループ

Dグループ

基本的には例年同様（バイク隊 1 車減）

コース及びペース



■基本コース

スタート：柏駅

休憩所1：富勢東中

休憩所2：市立柏高

休憩所3：十余二小

ゴール：柏中

■基本ペース

1 km = 12分

■昨年のおさらい

- ・ 出発間隔（40分⇒45分）
- ・ 十余二小の休憩時間（30分⇒35分）
- ・ コース一部変更
- ・ 土手入口整列（水分補給・体調確認）

基本的に例年同様 下見で一緒に確認しましょう

今年の大きな変更点

A. 更なるリスクの低減（４点）

＜どんな状況下においても参加者（子供大人）の安全を確保した上で、＞

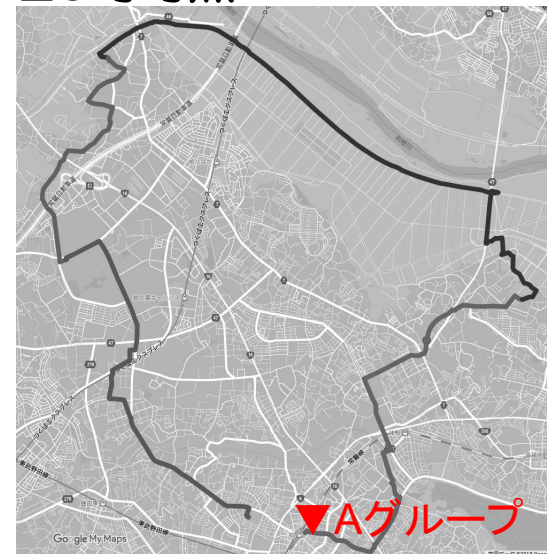
A. 更なるリスクの低減（4点）

くどんな状況下においても参加者（子供大人）の安全を確保した上で、>

1. 中止判断時間の詳細設定

16時（集合前）、**20時（A開会式）、22時（A富勢東到着）**

20時時点



【各グループの所在地】

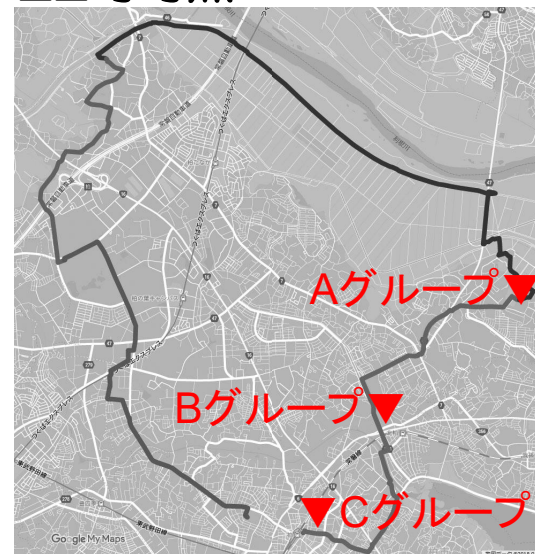
A: 柏駅

B: 学区毎の集合場所

C: 学区毎の集合場所

D: 自宅の可能性大

22時時点



【各グループの所在地】

A: 富勢東小

B: 北柏駅周辺

C: 柏駅

D: 学区毎の集合場所

2. 中止時のための連絡網作成と予行練習

学区毎の連絡網を定め、**一週間前**にその連絡網を使用して
各生徒へ事前連絡の予行練習を行う

（参加意向の再確認 ⇒ 当日キャンセル率低下の効果）

中止時でも慌てないよう、中止をイメージ・事前準備

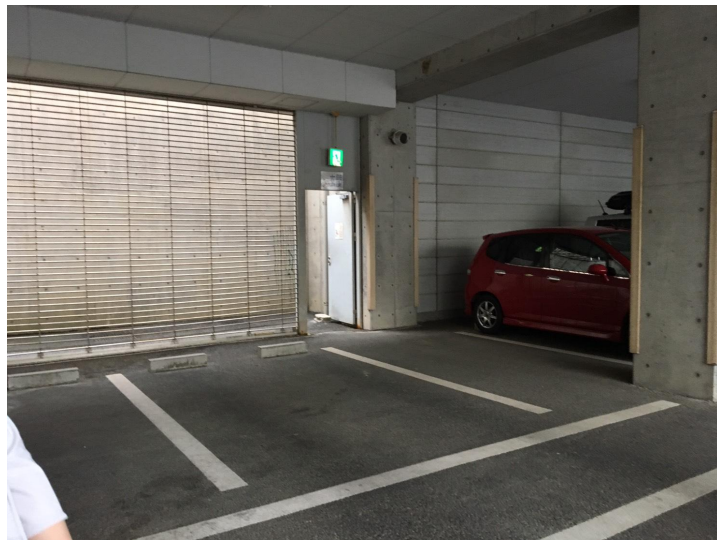
A. 更なるリスクの低減（4点）

＜どんな状況下においても参加者（子供大人）の安全を確保した上で、＞

3. ペース大幅遅延の想定

ゴールの柏中体育館 **退去時間（朝8時）** を過ぎてしまうケースを想定し、
地下駐車場を予備場所として確保

【Dグループの閉会式終了予定 7時頃】



4. 中止マニュアルの作成

様々なケースの対応を部会で想定しましたので、不測の事態発生時は、
本部・グループリーダー・夏つど部員 の指示に従って下さい

どんな時も、焦らないで行動して下さい

B. より魅力的に（4点）

〈子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、〉

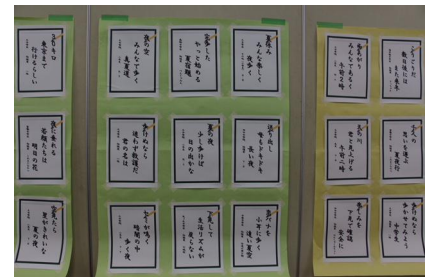
B. より魅力的に（4点）

〈子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、〉

■ 1. オーバーナイト俳句

今年も開催日は8月19日、8・1・9の日 そう俳句の日！
オーバーナイトハイクに関する俳句を大募集！

現在 ??句 詠まれています 投稿数トップは??中学区
生徒作品を中心に休憩所やHPに掲載予定（昨年 ??件）



皆さんも、投稿フォームへ急いで！！

■ 2. タオルの事前配布

参加者の一体感をUPさせるために、当日の持参物として事前配布



B. より魅力的に（4点）

〈子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、〉

■ 3. 新たな参加記念品の製作

シリコンリストバンド



完歩パン

【クリーム側】

80～90g程度

【チョコ側】



クリームが見える↑

↑チョコ側に焼印

B. より魅力的に（4点）

〈子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、〉

昨年のアンケート回収結果のコメント抜粋（3年生のみ 11件）

◆	学年	性別	参加回数	感想をお願いします
1	3 年生	男	3 回目	中止が悲しい。
2	3 年生	男	1 回目	天気が不調だったので歩けず悔しいです。
3	3 年生	男	1 回目	
4	3 年生	男	3 回目	く や し かった――
5	3 年生	男	1 回目	雷が鳴ってできなかったのが残念
6	3 年生	男	3 回目	オーバーナイト ハイイクいたかった――――！！！！く や し い
7	3 年生	女	1 回目	歩きたかったです
8	3 年生	男	2 回目	
9	3 年生	男	2 回目	今年は行けなかった。だが、来年もあれば行こうと思う
10	3 年生	女	1 回目	歩きたかった、、、最後の思い出にと楽しみにしていたので、、、>< 完歩パン食べたかった
11	3 年生	男	2 回目	雨が降ってしまい本当に残念だった。夜に歩くことはあまりないので楽しみだった。 来年こそは皆さんで完歩できますように！mm(_ _)mm

昨年3年生の悔しい想いに、何とか応えられないか・・・

B. より魅力的に（4点）

〈子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験やより印象に残る企画を行い、〉

■ 4. リベンジ参加枠の設定

現役生徒の参加が少なく、全体の運行体制に余力があることが確認されたため、
以下の運行体制で参加者の安全を確保した上でリベンジ参加を容認

【リベンジ枠の運行体制】

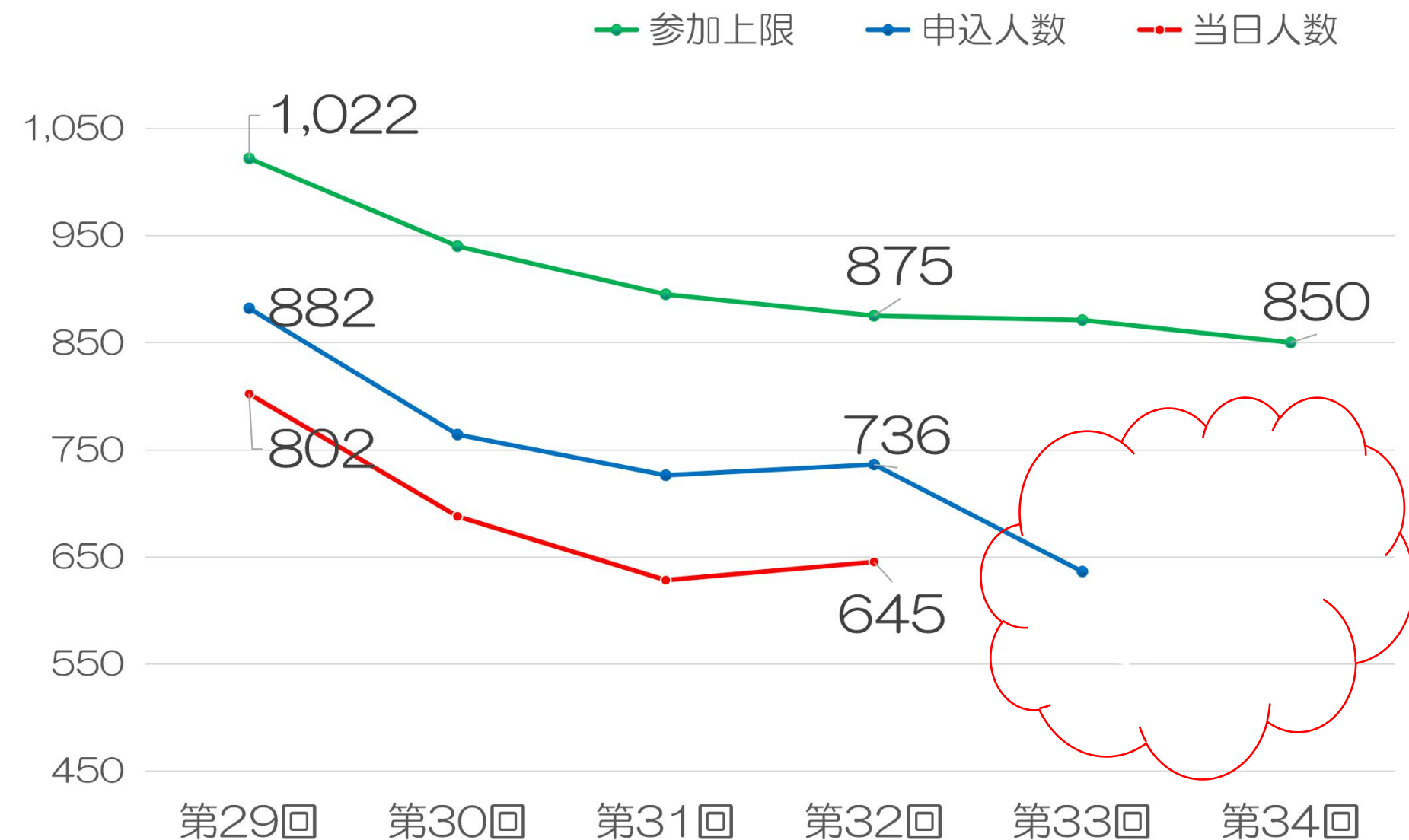
- ・参加者条件 : 昨年ONHに募集した昨年3年生 221名のみ
- ・参加上限数 : 40名（現在応募者??人）
- ・募集方法 : WEBにて先着順にて募集 ⇒ 電話にて保護者に確認
- ・歩行順 : Dグループの1学区分として最後尾を歩行
- ・しおり配布 : WEB上にてダウンロード
- ・最終出欠確認 : 1週間程度前に参加者に連絡
- ・集合場所 : 柏駅東口??
- ・集合時間 : 21時45分?（22時30分受付終了）
- ・オリエン : ??
- ・参加費徴収 : ONH受付時に参加
- ・同行責任者 : ??
- ・同行者 : 各学区から執行部、夏つど部員、相談員、同行協力者の力を借りて編成

色々なご意見があるのは承知ですが、
ご理解とご協力をお願い致します

C. 多くの人が主体的に参画する（3点）

C. 多くの人が主体的に参画する（3点）

ONH過去5年参加者推移



⇒賛否あるが、今年は参加者を増やす活動を実施

C. 多くの人が主体的に参画する（3点）

〈今年は参加者を増やす活動を実施〉

■ 1. 広報活動の充実によるONHの認知度向上や魅力を伝える

① 予告ポスター新規作成、募集ポスターの改善、イメージの統一



過去の写真等を掲載
印象UP



募集詳細を記載
分かり易さUP



ツールイメージの統一
ブランドUP

②. 東京2020参画プログラムと認証マーク取得



世界的イベントとの連携により、
参加者や協力者の参加意義を高揚させる

【2020参画プログラムとは: 東京2020オリンピック・パラリンピックの大会ビジョンのもと、スポーツだけでなく、文化芸術や地域での世代を越えた活動、被災地への支援など、参加者自らが体験・行動し、未来につなぐプログラムのこと】

C. 多くの人が主体的に参加する（3点）

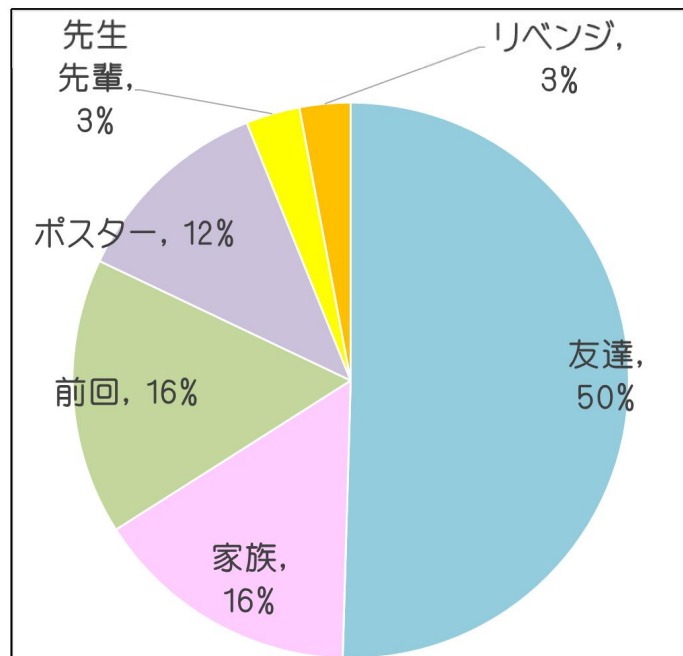
〈今年は参加者を増やす活動を実施〉

■ 2. 多くの生徒が参加できるような体制作り

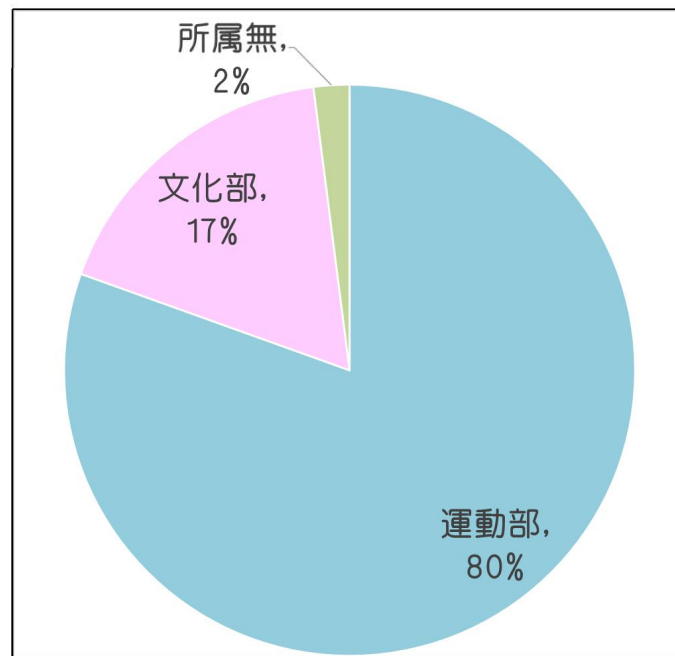
- ・ 支援体制を整えた学区の参加上限数を緩和（3学区）
（逆井：40人⇒54人、柏：30人⇒35人、五中：23人⇒30人）

■ 3. 生徒の参加きっかけの把握（来期への布石）

参加のきっかけ（有効回答541件）



参加者の部活（有効回答543件）



継続して調査し、今後のONHの方向性の検討する

D. 次世代に無理のないONHを

〈効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、学校や相談員の準備の負担を減らす ⇒次世代に繋げていく〉

D. 次世代に無理のないONHを（3点）

〈効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、学校や相談員の準備の負担を減らす ⇒次世代に繋げていく〉

■ 1. 外部団体への協力要請（将来への布石） ①

多くの生徒が参加できる体制作りと学校の負荷低減の両立

- ONHに理解があり、主体的に協力して下さる外部団体への協力要請
- 特に就職活動を控えている大学生、教育系に進む大学生にとっても、社会人や中学生と会話できる良い機会

麗澤大学の学生の皆様へ
開智国際大学の学生の皆様へ

平成30年4月吉日
柏市青少年相談員連絡協議会
会長 嶋田 雅彦

オーバーナイトハイクに参加して
柏の中学生と
夏の思い出を作りませんか

33回の歴史がある、柏の「オーバーナイトハイク」
柏市内の中学生 800人と一晩かけて市内約30キロを歩くイベントです
ボランティアとしてそのお手伝いをしてくださる大学生を大募集！
ぜひみなさんの若い力をお貸しください！

イ 行 事

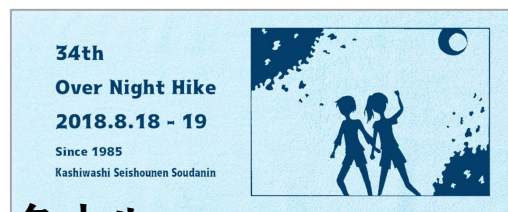
今回 協力頂けるボランティアのご紹介！！

D. 次世代に無理のないONHを（3点）

〈効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、学校や相談員の準備の負担を減らす ⇒次世代に繋げていく〉

■2. 配布物と配布タイミングの見直し

①事前（学区説明会時）



タオル



しおり

保護者の皆さまへ
健康カード

②当日スタート時



星形反射板
(中学生)



反射タスキ
(大人)



蓄光シリコン
リストバンド

③当日休憩時



水
500ml



スポドリ
500ml

④当日ゴール時



完歩パン



フルーツ
パック

紙中止

アンケート
⇒WEB化

※中止の場合、翌日等に参加者に 配布するかどうかは、学区ごとに対応を検討・事前に決めておく。
※完歩パンは、翌日または翌々日には消費期限となるため注意が必要。

D. 次世代に無理のないONHを（3点）

〈効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、学校や相談員の準備の負担を減らす ⇒次世代に繋げていく〉

■ 3. しおりの新仕様 採用

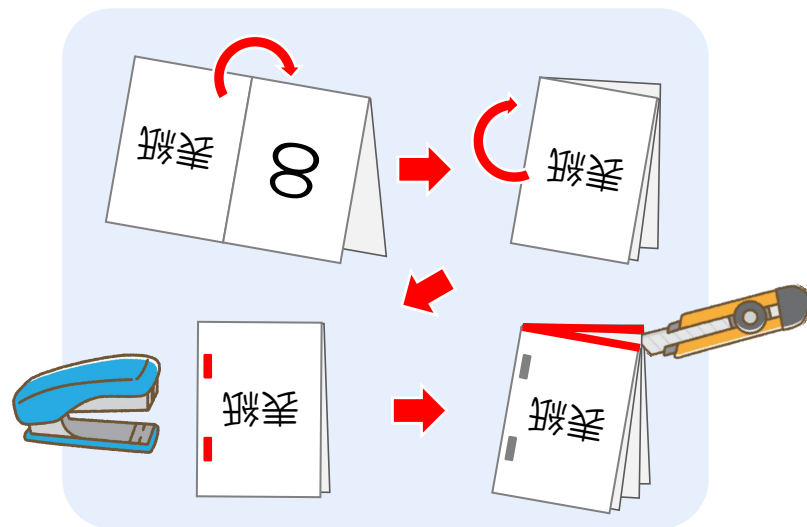
- ・しおりを参加者自ら作成することで、参加者のテンションUP
- ・相談員の作成手間簡略化（半日??人仕事）＋印刷数の削減（??枚）
- ・しおりの内容を精査し、必要事項を分かりやすく記載
- ・持ち運び便利！！（⇒字が少し小さくなったのはご勘弁）

しおりの仕様変更・作成手順

A3×1枚で両面印刷



参加者に自分で本にしまってもら



D. 次世代に無理のないONHを（3点）

〈効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、学校や相談員の準備の負担を減らす ⇒次世代に繋げていく〉

■学区説明会の流れ（奨励）及びしおりの説明

0. 受付

- ・参加者確認
 - ・配布物 ①しおり ②保護者の皆さま ③健康カード ④タオル
- ※映写機器がある学区は、ONH動画を投影

1. 相談員紹介・挨拶

2. しおり作成

3. しおりに表紙必要事項記載

4. しおり内容説明

5. 質問受付

最後に

19期夏つど部員の
昨年を含めての想いが詰まった
今期最後のONHの実現は

なにより相談員と協力者の皆様の
ご理解とご協力があったからこそです

子ども も 大人も
思い出に残る夏の夜にしましょう！！
今年も どうぞよろしくお願いします

ご 質 問

今年の夏のつどいの留意点（相談員全員に知っておいて欲しいこと）

6. 今年の取り組み

- A. どんな状況下においても参加者（子供大人）の**安全を確保した**上で、
- ・開催及び中止判断時間 16時（スタート前）20時（Aグループ開催前）22時（Aグループ富勢東到着）
 - ・各学区毎の緊急連絡網を定め、一週間前に緊急連絡の予行演習を行う。
（参加意思の確認等も兼ねて）
 - ・土手前にて一旦整列
 - ・中止マニュアル作成
 - ・雨天時等 ペース遅れ時に柏中ゴールを駐車場に変更する可能性あり。（焦って運営しない）
- B. 子供達の成長を少しでも促すきっかけとなる体験や**より印象に残る**企画を行い、
- ・オーバーナイト俳句 今年もやるよー。
 - ・新参加賞（完歩パン、完歩賞【ラバーバンド】）＋ 星形バッチ（従来通り）
 - ・タオルを学区説明会で事前配布し、参加者の一体感をつくる。
 - ・（リベンジ企画）
- C. **多くの人が主体的に参画するONHを次世代に繋げていく**
- ※参加人数が減っている状況をグラフで説明（ONHが時代に求められなくなってきた？）
- ⇒賛否あるが、今年は参加者を増やす活動を実施。
- ・広報活動の充実（事前告知ポスター、通常ポスターの変更）
 - ・参加のきっかけの確認（申込書に記載事項追加） ⇒グラフで説明
⇒来期 参加者を増やす方向で活動するのであれば、その目安になる。
 - ・学区の上限を超えた参加者は、相談員全員でカバーする。
 - ・ブランドイメージの統一（横断幕、昇り、缶バッチなど）
 - ・東京2020とのコラボ
- +D. 効率良く計画することで、より安全な運用を行うと共に、**学校や相談員の準備の負担を減らす**
- ・外部団体への協力要請（麗澤大学 1名） ⇒紹介する
 - ・しおりの作成方法の変更
 - ・休憩所やバイク隊の対応見直し（休憩所での配布物、バイク隊の編成）

7. 同行説明

8. バイク説明

9. 休憩所説明 以下流れ通り